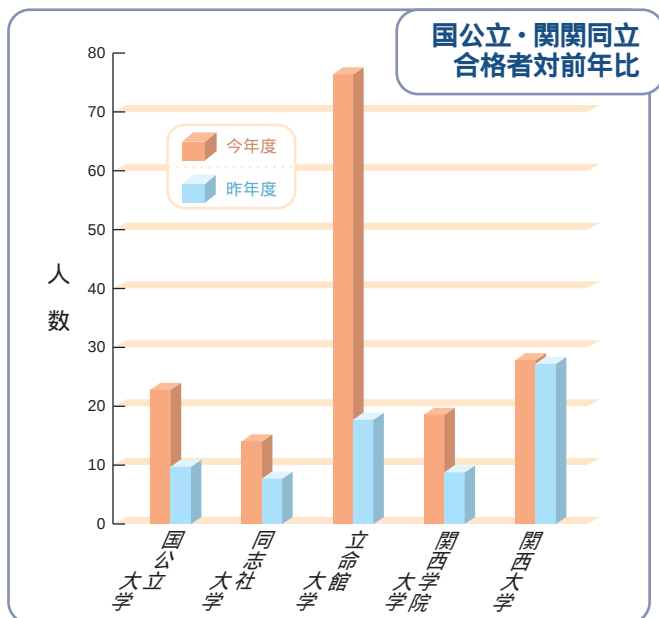




施し、主要科目に大幅な時間増を行っています。

《三つ目》は高1から高3まで、大学受験に向けたアドバンス・ゼミと呼ばれる課外授業を、4時から6時まで希望者に対して実施しています。昨年度は月火木金のアドバンス・ゼミ28講座を開講し、857名が参加、長期休暇中は29日間76講座2058名が参加、高3特別セミナー（6時20分～8時）は9講座161名が積極的に参加していました。なお、成績不振者に対しての手当てとしては、フィードバック・ゼミという補習を行っています。

《四つ目》は4月の授業開始時に学習オリエンテーションを実施し、学習意欲の向上につとめています。また、定期考査毎に「授業アンケート」を実施し、生徒とともによりよい授業へ向けての改善の取り組みを行っています。生徒による授業評価を教員は真摯に受け止め、教科会議・職員会議などで授業の点検・相互批判を行っています。

《五つ目》は各教科・各学年で学習面での数値目標（進研模試の偏差値・各大学への合格者数など）を持って常に点検しながら、指導を進めていることです。また、ベネッセと提携したFINEシステムを導入し、進路と学習指導にITを活用しています。

《六つ目》は教員研修です。若手の教員を中心に昨年度は平常4名の教員を代々木ゼミへ研修に派遣しました。夏期休暇中はさらに数名の教員を派遣し、学習指導力の向上につとめました。

今後の計画としては、昨年度大学より頂いて教員全員に配布されたノートパソコンを用いて、FINEシステムの高度活用や生徒懇談システムの開発など、教育のIT化に取り組んで参ります。その中で、教員全員での「情報の共有化」を押し進め、これにより従来にない生徒指導の質を高める取り組みをすすめます。



中学生に対するベルリッツによる英会話レッスン



早稲田大学理工学部教授 竜田邦明教授の講演

### 学校生活を充実させるその他の取り組み

学習以外の学校生活の充実に向けて、次の取り組みを行っています。

平成14年度は、希望者に対して語学学校のベルリッツの外人講師による英会話のレッスンを無料で実施しました。前期に10時間あるいは後期に10時間のレッスンを実施することで、生徒の学習意欲の向上を図りました。本年度も希望者数などを考慮してプログラムを策定し実施します。

夏休み中にはオーストラリアでの23日間の海外語学研修を実施しています。これについても、ベルリッツの講師による10回の事前指導の英会話レッスンを組み込んでいます。

昨年度は高3理系の生徒および高2理数コースの生徒に対して、本校卒業生の本学院理事の早稲田大学理工学部教授の竜田邦明教授の特別授業を実施し、生徒の学習に対する、モチベーションの向上を図りました。文系生徒向けには、山桜会会長で弁護士の方の川原俊明先生に特別授業を行ってもらいました。本年度も高大連携プログラムを検討中です。

クラブ活動の充実のために外部コーチを招聘しています。どのクラブについても実技指導者のいる状況をつくりました。

### 大阪府下トップの高校入試倍率

ご紹介しました教育改革の取り組みを受けて、本年度の高校入試における応募状況は、英数コース40名、理数コース40名、総合文理コース160名、総計240名の募集に対して、実に1173名の志願者が殺到し、とくに英数コースでは11.27倍という大阪府下でトップの競争率となりました。一次入試では対前年比27%増であり、公立高校が広き門となる中で、とりわけ専願者は20%増と追手門の人気の高さを裏付けました。特徴としては、500点満点の入試で400点を超える層が例年に比して急増したことです。昨年に較べて増加した約240名の受験生のうち100名が400点を超える得点であり、名実共に共学の進学校としての地歩を築きつつあるといえます。来年度は是非とも専願率を100%にもっていきたいと考えております。

なお、兄弟関係や親子関係の優遇制度については、多くの卒業生の皆様のご応募やお問い合わせを頂き、受験や入学に繋がりました。紙面をお借りして御礼申し上げます。